

# 赤潮情報（3）

令和5年7月14日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

7月14日（金）に調査を行った結果、有害プランクトンの一  
種のシャットネラ属とカレニア ミキモトイの増殖が確認され  
ましたが、着色は認められませんでした。

## 【結果】

○シャットネラ属の1mlあたりの最大密度は5細胞でした。

シャットネラ属は1mlあたりおよそ100細胞程度に増えると魚がへい  
死する恐れがあるプランクトンです。

○カレニア ミキモトイの1mlあたりの最大密度は24細胞でした。

カレニア ミキモトイは1mlあたり数千細胞に増えると魚がへい死す  
る恐れがあるプランクトンです。

## ＜今後の対応＞

○今後の天候や海況によっては、増殖することも考えられます。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

